

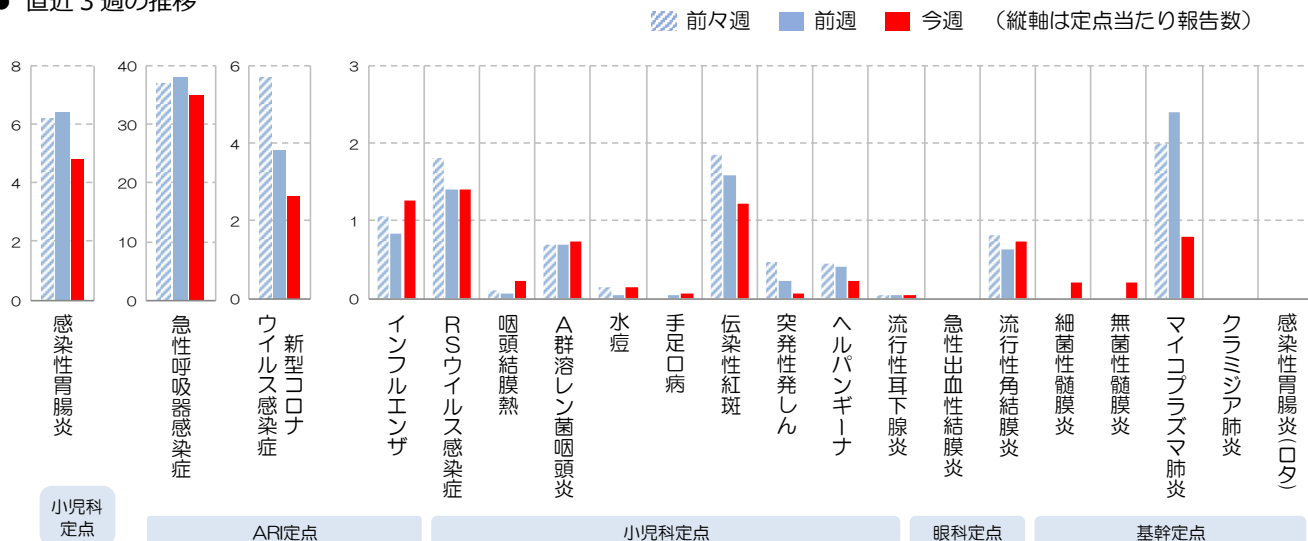
今週の主な動向

- インフルエンザの患者報告数が各地で増加しています。手洗い、手指消毒などの基本的な感染対策を心がけるとともに、必要に応じてワクチンの接種も検討しましょう。
- 伝染性紅斑、RS ウイルス感染症について、県全体では減少傾向にありますが、感染報告が増えている地域もあります。
- 百日咳の患者報告数が大きく減少し、流行は収束に向かっています。

定点把握対象疾患

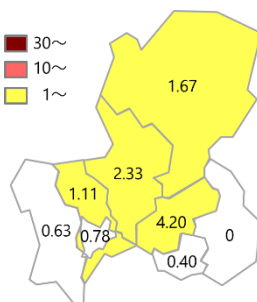
<ARI 定点：45 か所、小児科定点：27 か所、眼科定点：11 か所、基幹定点：5 か所>

● 直近 3 週の推移

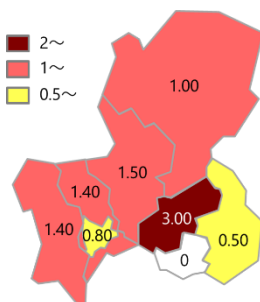


● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

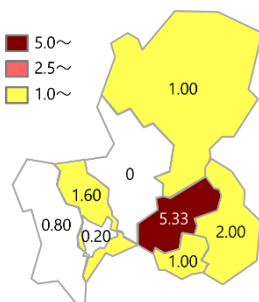
<インフルエンザ>



<伝染性紅斑>



<RS ウイルス感染症>



全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 10 例
- 3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 4 例
- 4 類感染症：デング熱 1 例、日本紅斑熱 1 例、レジオネラ症 2 例
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 2 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、水痘（入院例）1 例、梅毒 5 例、百日咳 6 例

2025 年累計
157 人
(前年同比 1.32)

2025 年累計
912 人
(前年同期比 114.0)

保健所別の百日咳患者報告状況（診断週別）

